



瀧川鯉昇と柳家三三 実力派の笑いを

来月8日、長崎・佐世保で落語会

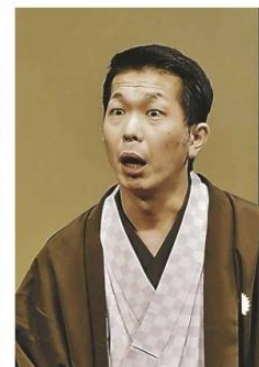
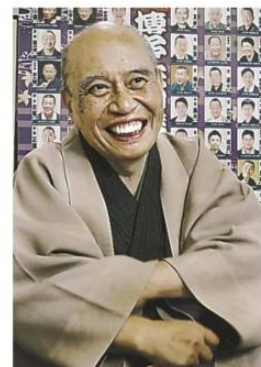
実力派の落語家を呼び、九州の人たちに笑いの文化を親しんでもらう「佐世保かっちえて落語会」が4月8日、長崎県佐世保市光月町の佐世保市コミュニティセンターで開かれる。放送作家の海老原靖芳氏が企画。31回目の今回は瀧川鯉昇と柳家三三が高座に上がる。

古典落語にナンセンスギャグを挟み、観客を爆笑させる鯉昇。鯉昇ワールドと呼ばれる話芸は、ひょうひょうとしたおかしみがあり、落語本来の楽しさや面白さを伝える。文化庁

芸術祭優秀賞を受賞。温厚な人柄で面倒見が良く、弟子も多い。

人間国宝、故柳家小三治の愛弟子の三三は豊かな表現力、情感こもる口跡(せりふ回し)で関係者からの評価が高く、古典落語の王道を進む。花形演芸大賞、芸術選奨新人賞を受賞するなど、落語会の次代を担う本格派だ。

佐世保南高出身の二つ目の三遊亭らっ好も出演し、前座では海老原氏から落語を学んでいる「佐世保かっちえて落語っ子」の小中学生6人が会を盛り上げる。午後4時開演。大



柳家三三 瀧川鯉昇

人2500円、小中高生1000円(いずれも指定席)。未就学児の入場不可。問い合わせは同実行委員会事務局＝0956(32)0888(月～金)。

(山上武雄)